

### 新株予約権の発行に関する補足説明資料

- 本資料は、令和3年9月13日付で公表された「第三者割当による行使価額修正条項付第2回新株予約権の発行に関するお知らせ」(以下「開示資料」といいます。)の内容に関して、主要な項目を分かりやすくQ&A形式にまとめたものです。
- 各項目に記載されているページ数は、開示資料の該当ページを表していますので、ご参照ください。
- 本資料の取り扱いについては、7ページをご参照ください。

Q1	今回の資金調達の目的は何ですか？	
A1	<p>当社グループは、医薬品原料である原薬の製造・販売に加え、製剤の製造・販売も行っており、原薬から製剤までの一貫した製造が可能な体制のもと、国内外の医薬品メーカーと幅広く取引を行っております。近年は国のジェネリック医薬品使用促進政策に対応し、ジェネリック医薬品及びジェネリック医薬品用原薬の製造、販売を拡大させてきており、また、成長戦略として高薬理活性製剤領域にも注力してまいりました。</p> <p>今般の資金調達は、当社本社工場にて現在建設中の第七原薬棟への投資資金に充当し、医薬品原薬の安定供給体制及び安全対策の一層の強化を図ります。本棟完成により、当社の原薬生産能力は約10%向上する見込みです。</p> <p>また、原薬及び製剤の生産量増加や、要求される品質水準の上昇に伴う分析機器の多様化・台数増加等の理由により、現在の研究所の実験・事務スペースが手狭になってきていることから、新たな研究棟である「総合研究センター」の新設を予定しており、この建設資金に充当致します。総合研究センター建設により、研究開発活動の効率化、並びに研究開発本部連携の強化が図られ、また、将来の人員増・分析機器の増加にも対応可能となります。</p> <p>更に、高稼働が継続している製剤包装工程におけるPTP(錠剤をアルミ箔越しに押し出して取り出すための包装形態)包装ライン(PTP 充填、集積、ピロー、カートニング、外箱パレット積み までの一連のライン)の新設に充当致します。本ラインの新設により、当社包装工程の生産能力は約10%向上する見込みです。</p> <p>これらの投資により今後需要の増加が見込まれる国内製医薬品原薬の安定供給体制及び安全対策の一層の強化、将来を見据えた研究開発活動の強化、製剤生産能力の強化を図るとともに一層の収益力の強化及び業績の向上を目指すことを目的としております。</p>	開示資料 p.2-4, 8-9

Q2	今回の資金調達の調達予定金額はいくらですか?	
A2	<p>調達金額は4,754,851,000円を予定しています(差引手取概算額)。これは、当初行使価額 3,655 円で全ての本新株予約権が行使されたと仮定した場合の金額です。実際の調達額や調達の時期は、当社株価の動向や本新株予約権の行使状況の影響を受けることから、株価上昇時には調達額が増大するメリットを享受できる一方、株価下落時や行使が行われない場合は調達額が予定額を下回る可能性があります。</p>	開示資料 p.7-9

Q3	今回の資金調達の資金使途は何ですか?	
A3	<p>以下の投資案件に充当致します。</p> <p>① 本社工場 第七原薬棟の新設・製造設備新設 1,502,000,000 円</p> <p>② 本社 新研究棟「総合研究センター」の新設 2,600,000,000 円</p> <p>③ 本社工場 包装製造設備の増強 652,851,000 円</p>	開示資料 p.8-9

Q4	新株予約権とはどのようなものですか?	
A4	<p>新株予約権者が、新株予約権を発行した株式会社(発行会社)に対して、当該新株予約権を行使することにより、発行会社の株式の交付を受けることができる権利のことをいいます。新株予約権者は、新株予約権の行使の際に一定の行使価格を払い込むことにより、発行会社が発行する新株式、又は、発行会社自身が保有する株式を取得することができます。</p>	—

Q5	今回予定している第三者割当による行使価額修正条項付新株予約権の発行とはどういったものですか?	
A5	<p>① 当社が割当予定先である大和証券に対し、行使可能期間を 3 年間とする行使価額修正条項付の新株予約権を第三者割当の方法によって割当ててものです。</p> <p>② 行使可能期間の 3 年間の間に、大和証券による本新株予約権の行使がなされた場合、都度資金調達がなされ、また、当社の資本が増加します。</p> <p>③ 行使価額は、本新株予約権が行使されるごとに、本新株予約権の各行使請求の効力発生日の直前取引日の当社普通株式の普通取引の終値の 92%に相当する金額に修正されます。なお、その価額が下限行使価額(2,193 円)を下回る場合には、下限行使価額が修正後の行使価額となります。</p> <p>④ 当社は、割当予定先との間で締結する本新株予約権買取契約において、同契約に定める一定の場合を除き、本新株予約権の行使をしようとする日を含む暦月において当該行使により取得することとなる株式数が本新株予約権の払込期日における当社上場株式数の 10%を超える行使を割当予定先に行わせないこととなっております。</p>	開示資料 p.1-2, 4-5

Q6	株価が下落し続けた場合も、行使されるのでしょうか?	
A6	<p>本新株予約権の行使価額は、本新株予約権が行使されるごとに、本新株予約権の各行使請求の効力発生日の直前取引日の当社普通株式の普通取引の終値の92%に相当する金額に修正されますが、下限行使価額を設けており、下限行使価額である2,193円を下回ることはありません。</p> <p>そのため、当社の株価が下限行使価額を下回って推移するようなケースにおいては、割当予定先は本新株予約権を行使しないと想定されます。この点が市場に一定の配慮をした資金調達スキームとなっています。</p>	—

Q7	資金調達が想定どおりに進まない場合はどうなりますか?	
A7	<p>①本社工場 第七原薬棟の新設・製造設備新設、②本社 新研究棟「総合研究センター」の新設、③本社工場 包装製造設備の増強、の順に充当することを想定しております。不足分については、手元資金又は銀行借入等により調達を行い、充当することを想定しております。</p>	開示資料 p.8

Q8	本新株予約権の割当日と行使可能期間を教えてください。	
A8	<p>① 割当日は、令和3年9月29日です。</p> <p>② 本新株予約権の行使期間は、令和3年9月30日から令和6年9月30日までの3年間です。</p>	開示資料 p.1-2

Q9	今回、本資金調達スキームを選んだ理由は何ですか?	
A9	<p>当社は、資本金調達手法のみならず、負債性調達手法を含めた様々な手法について検討を行いました。当社としては、当社の判断によって希薄化をコントロールしつつ資金調達や自己資本増強が行えること、資金調達の機動性や蓋然性が確保された手法であることを重視し、本スキームが当社にとって最良の資金調達方法であると判断いたしました。</p> <p>本スキームの特徴については、Q15をご覧ください。</p>	開示資料 p.5-7

Q10	公募増資等と比較した場合の、本スキームの特徴は何ですか?	
A10	<p>公募増資による新株式発行は、即時の資金調達が可能であるものの、希薄化についても即時に生じるため、株価に対して直接的な影響を与える可能性があります。</p> <p>一方、本スキームでは、割当予定先である大和証券と当社との間で締結する覚書により、当社は行使停止期間を定めることができます。この条項によって当社は、資金調達を優先しつつも、株価動向や資金の喫緊性等を勘案し、希薄化を一定程度コントロールすることが可能となります。</p> <p>また、公募増資は資金調達ニーズの発生から実際に資金調達が行われるまで、相当程度の期間が必要になります。そのため、資金調達の機動性という観点からも本スキームの方が優れています。</p>	開示資料 p.5-6

Q11	発行数量(130万株)が合理的であるとした理由は何ですか?	
A11	<p>今回の資金調達において、本新株予約権全てが行使された場合の交付株式数は最大1,300,000株(議決権13,000個)であり、発行決議日現在の発行済株式総数13,719,064株に対して9.48%、令和3年5月31日現在の総議決権136,806個に対して9.50%の希薄化が生じます。しかしながら、当該資金調達は、当社グループの財務基盤を強化し、今後の事業拡大投資を機動的に行うための体制を整えることで、今後の収益性の向上や企業価値の向上に寄与し、既存株主を含めた株主全体の利益につながることから、発行数量及び株式の希薄化の規模は合理的な水準であると判断いたしました。</p>	開示資料 p.10

Q12	割当予定先として大和証券を選んだ理由は何ですか?	
A12	<p>以下の要素等を総合的に勘案し、同社を割当予定先として選定いたしました。</p> <p>① 当社の主幹事証券会社として当社と良好な関係を構築してきたこと</p> <p>② 国内外に厚い投資家基盤を有しているため、当社普通株式に対する投資家の多様な需要に基づき、今回発行を予定している本新株予約権の行使により交付する株式の円滑な売却が期待されること</p> <p>③ 本資金調達方法の特徴を備える商品に関する知識が豊富であること</p> <p>④ 今回の資金調達の実施にあたり十分な信用力を有すること</p>	開示資料 p.12

Q13	大株主に変更はありますか?	
A13	<p>変更は想定しておりません。本新株予約権の割当予定先である大和証券は、本新株予約権の行使により取得する当社普通株式を長期間保有する意思を有しておらず、取得後に適時適切に売却する予定です。</p>	開示資料 p.13

Q14	今期業績に与える影響はありますか?	
A14	<p>令和4年5月期の当社の業績に与える影響は軽微であります。</p>	—

Q15	スキームの主な特徴は何ですか？	
A15	<p>① 割当予定先と当社との間で締結する予定の覚書により、当社は行使停止期間を定めることができます。資金調達を優先しつつも、株価動向や資金の喫緊性等を勘案できるようにするために設定しており、当社による希薄化のコントロールが一定程度可能となります。</p> <p>② 最大増加株式数が固定されているため、最大希薄化率が変わることはありません。</p> <p>③ 本新株予約権の行使価額の上限が設定されていないため、株価上昇時には本新株予約権の行使による調達額が増大するメリットを享受できます。</p> <p>④ 割当予定先において、本新株予約権の権利行使により発行される当社株式が市場にて売却されることにより流動性の向上が期待できます。</p> <p>⑤ 当社は、本新株予約権の払込金額(発行価額)と同額の金銭を対価として、いつでも本新株予約権の全部を取得できます。これにより、将来、本新株予約権による資金調達の必要がなくなった場合や当社が別の資金調達方法が望ましいと判断した場合には、当社の裁量により資金調達方法の切替えを行うことができ、今後の資本政策の柔軟性が確保されています。</p> <p>⑥ 割当予定先は、当社取締役会の事前の承認を得ることなく、本新株予約権買取契約に基づき当社以外の第三者に本新株予約権を譲渡することはできません。</p>	開示資料 p.4-7

Q16	スキームのデメリットは何ですか?	
A16	<p>① 本新株予約権の発行時点では、本新株予約権の発行価額の総額のみが当社に払い込まれ、本新株予約権の行使価額は、本新株予約権の発行後、行使の都度払い込まれることとなります。そのため、本新株予約権の発行時点では十分な資金調達とはならず、権利行使の進捗によって当該目的が実現できることとなります。割当予定先は権利行使を行う義務は負っておらず、市場環境等を考慮しながら権利行使を行うスキームとなっており、権利行使が完了するまでには一定の期間を要することが想定されます。また、割当予定先が取得請求通知を行った場合には、当社は残存する本新株予約権の全部を取得するため権利行使が行われないこととなります。</p> <p>② 当社株式の株価が下落した場合には、調達額が予定額を下回る可能性があります。</p> <p>③ 株価水準、行使状況等によっては、調達額が減少する可能性、適時に調達を行えない可能性、又は資金調達が実現しない可能性があり、これらのために調達資金の目的を達成できない可能性があります。</p> <p>④ 割当予定先が権利行使請求により取得した株式を売却した場合には、株価下落の要因となりえます。</p> <p>⑤ 第三者割当形態となるため、資金調達を行うために不特定多数の新規投資家を幅広く勧誘することはできません。</p>	開示資料 p.6

Q17	権利行使の状況はどのようにしてわかりますか?	
A17	東証の適時開示規則に従い、月中に行使が行われた場合は、翌月初に前月の行使状況(行使された新株予約権の数、行使価額等)を開示します。また、東証が定める大量行使が行われた場合には、その旨を直ちに開示します。	—

Q18	行使価額修正条項付第1回新株予約権で調達した資金はどうしたのか?	
A18	当初の予定通り調達した資金全額を、①第八製剤棟の製造設備増強、②原薬工場の製造設備の合理化及び維持更新、③製剤工場の製造設備の合理化及び維持更新、④包装工場の製造設備の合理化及び維持更新のために充当しております。	開示資料 p.16

以上

## 本資料の取り扱いについて

- 本資料は、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における、将来予想に関する記述につきましては、本資料の作成時点の目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、本資料の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。
- 当社が属する医薬品業界等に関する記述については、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されて おりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、ご自身の判断と責任において利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。